

令和3年度

「障害者スポーツ推進プロジェクト（障害者 スポーツ団体の連携及び体制整備への支 援事業）」

成果報告 概要

令和4年4月28日 一般財団法人全日本ろうあ連盟

① デフスポーツ啓発イベントを通じた連携推進

・デフスポーツ啓発イベントとして、「デフリンピックフェスティバル」を開催。いずれもパラスポーツ体験、パラリンピアンとデフリンピアンのトークショーを中心に障害者スポーツに興味のある方を対象にオンラインと対面のハイブリットにて開催。



デフリンピックフェスティバル in 北海道

2022年2月20日(日)
13:00 ~ 16:30

会場：かでの2.7 (北海道立道民活動センター)820研修室

主催：札幌市/一般財団法人札幌有障がい者スポーツ協会/公益社団法人札幌障害者協会
共催：北海道/公益財団法人北海道障がい者スポーツ協会/公益社団法人北海道ろうお友連盟スポーツ委員会

内容：情報保障あり(手話言語表記、要約筆記)

- 障がい者スポーツ体験(ボッチャ体験)
講師：北海道ボッチャ協会 理事長 樋口幸治氏
- 講演『デフスポーツそしてデフリンピックって?』
講師：全日本ろうあ連盟デフリンピック準備室
- パネルディスカッション
パネリスト：
★(一社)日本ろう者スキー協会 名誉副会長兼相談役 伏見景子氏
★北海道新聞社 パラスポーツアドバイザー 永瀬充氏

申込方法：
2月10日(木)までに右のQRコードからお申し込みください。なお、会場収容人数の上限50名に達した時点で申込受付を終了いたします。

お問い合わせ先：
全日本ろうあ連盟スポーツ委員会
e-mail: deaffest01@jfd.or.jp





主催：一般財団法人全日本ろうあ連盟スポーツ委員会



デフリンピックフェスティバル in 石川

2022年2月20日(日)
13:00 ~ 16:30

会場：金沢商工会議所 1Fホール

主催：社会福祉法人石川聴覚障害者協会 後援：石川県 協力：石川県障害者スポーツ協会/生活障害者スポーツ協会/全日本ろうあ連盟スポーツ委員会

内容：情報保障あり(手話言語表記、要約筆記)

- 講演『デフスポーツそしてデフリンピックって?』
講師：全日本ろうあ連盟スポーツ委員会
- パネルディスカッション
★報告：『デフスポーツについて』
講師：門脇 翠氏 (一社)日本デフ陸上競技協会 副会長
★パネリスト：石川県聴覚障害者協会 (デファースリート)
◎門脇 翠氏 (一社)日本デフ陸上競技協会 副会長
◎森光 佑矢氏 (一社)日本デフ陸上競技協会/SMBC日興証券株式会社
◎土倉 仁菜氏 (一社)日本ろうあ者卓球協会
◎新田 照子氏 デフリンピアン (ローマ大会 バドミントン競技)
◎朝藤 至氏 石川デフブルースバックス (バスケットボール競技)
- 障がい者スポーツ体験(ボッチャ体験)
協力：石川県ボッチャ協会

申込方法：
2月10日(木)までに右のQRコードからお申し込みください。なお、会場収容人数の上限100名に達した時点で申込受付を終了いたします。

お問い合わせ先：
全日本ろうあ連盟スポーツ委員会
e-mail: deaffest02@jfd.or.jp





主催：一般財団法人全日本ろうあ連盟スポーツ委員会



②デフスポーツ団体体制整備支援及び情報提供の実施

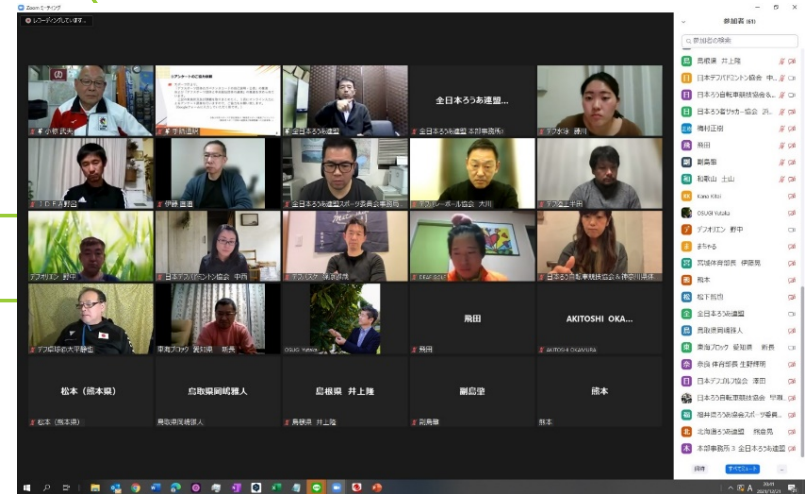
現状・課題

- 各団体の遵守状況・運営の確認
- 手話言語によるヒアリング(16団体)

ヒアリング

【課題の整理】

- ① デフスポーツ団体ときこえるNFとの連携状況の確認
- ② ガバナンスコードの実施状況及びガバナンスコード遵守のための課題



分析

- 組織運営に関わる人材不足
 役員人材が少なく、引継ぎが難しい状況
- 手話言語でコミュニケーションが取れる
 弁護士、公認会計士、学識経験者等の有識者の発掘育成
- 危機管理体制整備の策定
- デフスポーツ全体のビジョン、ミッションをもとにした長期計画
- きこえるNFとの関係構築

③ 成果物



一般財団法人全日本ろうあ連盟 スポーツ委員会

きこえない選手 の未来のために

一般の競技大会に参加したときは？

きこえない選手の不安を
無くすために配慮をしましょう

さらなる競技力の向上を目指して、きこえない選手が一般の競技大会に参加することがよくあります。しかし、きこえない選手は大会における情報保障や配慮があるかどうか、いつも不安に感じています。例えば、開会式の内容や運営スタッフの指示、競技の時に名前を呼ばれてもわからない等と不安がいっぱいです。大会の運営組織はきこえない選手が参加したときは、情報保障や配慮を行ってください。また、大会出場申込書に「配慮してほしいこと」という欄を設けてみてはどうでしょうか？



学校体育や部活動に参加したときは？

きこえない学生もスポーツを楽しめる環境を

きこえない学生が体育授業や部活動に参加するとき困る場面の一つがミーティングです。特に団体競技では、ミーティングで戦略等の指示を受けたり、チームメイト同士で話し合います。

しかし、きこえないといっていけなかったり、また意図をつかむことができません。これでは楽しいスポーツも、きこえない学生にとっては苦痛なものになってしまいます。ホワイトボードを使い、指示の内容を具体的に文字にする等、視覚的な方法できちんと伝わるようにすることが大切です。



Deaflympics 14

きこえない選手の競技力向上のために

指導の際には視覚的な工夫を

実は、競技力向上に音が大きな役割を持っていることが多いです。例えばプロ野球選手は「打球音は次のプレーにすぐ移るときの大きな判断となる」、「バットが風を切る音で自分のスイングの善し悪しかわかる」といいます。

競技中に発生する音は競技力の向上に欠かせない重要な情報です。それがきこえないということは競技力向上の壁となります。きこえない選手に指導する際には、スマホやタブレット等で動画を撮影して、それを見せながら指導する等、視覚的な工夫が必要です。



指導するとき気を付けたいことは？

動作と説明はそれぞれ区切って
交互にしましょう

コーチが指導する際、実際に演習しながら説明をすることがあります。しかし、動作と説明が同時だと、きこえない選手はどちらを注意してみればよいのかわからず理解できないまま終わってしまいがちです。

指導の意図が伝わっていないと、競技力向上につながりません。

まず、説明を文字や図で示し、次に動作を実演して見せる、そしてまた文字や図で説明をするというように、動作と説明は区切って交互に行うと良いでしょう。



Deaflympics 15

●情報保障の様子を中心にまとめた デフスポーツ啓発パンフレットを作成

「きこえない選手の未来のために」

- ・きこえない選手の競技力向上のために
- ・指導する時に気を付けたいことは？
- ・きこえない選手が研修に参加するときは？
- ・デフスポーツの発展のためには？
- ・オンライン研修のときはどんな配慮を？
- ・指導のとき、手話言語通訳者がいれば大丈夫？